

一般質問発言通告書

発言順位 13 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 3年 6月 8日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 7 番 沈 久美



質問事項1	ごみ出し支援「ふれあいさわやか回収事業」拡充に向けて
具体的内容	高齢者や単身世帯の増加を背景に、家庭ごみを集積所まで自分で出しに行くことがなかなか難しい人が増えています。ご高齢や障がいがあっても、多忙感、孤立感、無気力感などから、「ごみ出しが苦痛」「片づけられない」といった悩みを抱える人は少なくありません。家庭生活や社会生活に疲れ果て、ごみ出しができにくい状態が継続・長期化した、いわゆる「汚部屋の住人」は、ひきこもり、ネグレクト、DV、家庭崩壊の当事者になりやすく、さらに進むと絶望感に苛まれ、自殺、孤独死につながることも否定できません。総務省では昨年11月、ゴミ出しに関し「地域の実情を国としてもしつかりときめ細かい支援をしていくことが必要」とし、「各市町村にはゴミ出しが困難な状況にある世帯への支援に積極的に取り組んで欲しい」と呼びかけるとともに特別交付税の措置を講じています。 ゴミ出し支援に取り組む市町村は全国でも2割程度に留まっていますが、三島市は早くから「ふれあいさわやか回収事業」を行なっています。運用状況は現状に合っているでしょうか。また、拡充は可能かなどを伺います。
	1 三島市「ふれあいさわやか回収事業」について。開始年月、導入の経緯、取組主体、支援制度のタイプ、ごみ出し支援者、収集車両、利用対象要件、支援の範囲、声かけの有無、ごみ出し支援に付随したネットワーク体制の有無、事業概要、利用世帯数の推移
	2 財源について 3 一般のごみ出しを促す対策・工夫
	4 ごみ出し支援の多面性・多目的性に対する見解と拡充に関する今後の展望
質問事項2	令和流「文武両道」とラグビーの体験機会創出について
具体的内容	文武両道とは、学芸と武芸などその両道に努め、優れていることを示す言葉で、求道的な評価にも用いられる語です。変わって現代では、勉学とスポーツの両面に長けている人物に対して用いられます。一時期「文武両道」への賛否が分かれたこともありましたが、現行の学習指導要領では、生涯にわたって運動に親しむ資質・能力を育てることや体力の向上を図ることをねらいとして、小学校から高等学校までを見通して、指導内容の系統化や明確化を図っています。また、学校教育の一環として行われる運動部活動は、スポーツに親しむとともに、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資する重要な場であるとし、スポーツ庁では、運動部活動をより充実させるための取組みを行っています。 「文武両道」という言葉の使用はないものの、その内容は現代流の文武両道観、つまりはスポーツと勉学・人格形成の相互作用を示しています。時代は令和となり「勉学重視ならスポーツの効用を活かすほうがよりよい」「厳しい社会を生き抜くにはスポーツによって鍛えられた気力体力コミュニケーション力が不可欠」といった、スポーツへの継続的な取り組みは豊かな人生の下支えとなるという捉え方をしっかり打ち出す必要があります。以上のような文武両道観の変化をふまえ、令和流「文武両道」について、三島市の見解、取組、展望を伺います。また今回は、スポーツへの参加機会創出の一つとして、心理的・体力的・社会的成長を幅広く促すラグビー体験授業についても見解を伺います。
	1 「文武両道」について三島市の見解を伺う。
	2 中学校運動部への入部状況と学習意欲に関する実績および見解を伺う。
	3 ラグビー体験授業への見解および南二日町グラウンドのラグビーゴール設置見込みを伺う。